



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

第1585回 例会

2024.11. 15(金)曇

司会：高村勝則君

ロータリーソング「日も風も星も」 指揮：杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 仲原実圭君

佐野彰重さんご入会おめでとうございます。本日入会式がありますので楽しみにお待ちください。

そしてRI5000地区ホノルルRCより山村尚正さん、ようこそお越しいただきました。

先週の土曜日と日曜日に本年度小泉Gの地区大会が山梨で行われ、1100名ほどのロータリアンが結集しました。懇親会も多くのロータリアンが参加し、会場が狭く感じるほどでした。参加者の笑顔が印象的な地区大会でした。後ほど大会参加者より感想や体験談の発表がありますのでお楽しみに！

そして次年度の地区大会は、2025年12月7日日曜日、伊豆市のペロドロームで開催されます。全員参加出来るよう日程の調整をお願いいたします。



次年度開催地 伊豆ペロドローム

また12月の8日の日曜日には伊東にて第1グループの野村ガバナー補佐主催のインターシティーミーティング(IM)があります。昨年の米山ガバナー補佐のIMも第1グループの各クラブより多くにロータリアンにご参集頂きました。ロータリーの友情のお返しで今年も一人でも多くのメンバーのご参加をお願いしたいと思います。現在18名の参加となっております。

クラブ活動としては、11月8日の金曜日にクラブ研修委員会主催の研修会が三島市民活動センターで行われました。今回は2回目の開催で4名の方が参加してくださいました。次回は11月29日の金曜日に行われます。次回参加の皆様も楽しみにお待ちください。3回の研修が終わりましたら、参加者の方から感想や要望などお聞きしたいと思います。

そして、今週の日曜日にマリクラブ主催の第1回海船津り大会が開催されます。台風の余波はまだ無いと思われまますので大漁を祈願しつつ楽しみにしております。山田海長及びスタッフの皆様よろしくお願ひ 致します。

11月のロータリー強化月間のテーマはロータリー財団です。ロータリー財団100年の歴史のビデオをご覧ください。

ビデオにて紹介



服部 光弥君

朝早くから三島・三島西そしてせせらぎ3クラブ合同でバスにて現地に向かいました。往復のバス車内の点呼その他はすべて原幹事から指名をいただき、無事、皆さん仲良く・・・楽しい時間でした。さて、地区大会報告ですが、今回の大会で一番楽しみにしていた「村木厚子氏による記念講演」です。一番印象に残った言葉をお伝えして地区大会報告とさせていただきます。

「アメリカの5大オーケストラでわずか5%だった女性演奏家の割合を7倍の35%に増やしたのは、オーディション会場に1枚のカーテンを持ち込み、審査員が自動的に望ましい行動をとるように仕向ける手法でした」

原 兄多君

二日間参加しましたが、全体として私語が多く、講師や設営者に対する敬意も大会に臨む高潔さも感じられなかったのが残念でした。当クラブでは最近、SAAより例会中の私語を控えるようアナウンスがあります。常日ごろから例会中の私語は控えて、地区大会やIM等には敬意と高潔さを持って臨みたいと思いました。

個別の委員会報告では、ロータリープログラム委員会 インターアクト小委員会の発表が印象に残りました。記念式典的な意味合いが強いと思われる大会において、非常に厳しい言葉で現状を非難しておりました。

インターアクトを、周年の箔付けや会長の実績として利用しており、実態が伴っていないクラブがあるとのことでした。

当クラブにおいても、昨年、インターアクトを検討しましたが、クラブにとっても相手高校にとっても実施が難しいと判断して見送った経緯があります。ある意味正しい決断をしたのではないかと思います。田方農業高校とは付き合いが始まったばかりですが、お互いWin-Winな関係が築けたら良いと思います。

宮澤友一君

今回、初めて地区大会に参加させて頂きました。実際、話されている内容や何の表彰なのかかわからないことだらけでしたが、徐々に把握できるように努めて参りたいと思っております。村木厚子さんの講演では、現在の「働き方改革」に関するような内容でしたので、普段の会社経営にも生かして実践していければと思います。

大懇親会におかれましては、あんなに大勢の人数で懇親会をすることもないので、雰囲気は飲まれてしまいましたが、今後参加する機会がありましたら、少しは馴染めるようにしたいと思います。

三輪暁生君

初めて地区大会に参加させて頂き、改めてロータリーの活動を知ることが出来ました。

記念講演では村木元厚生労働事務次官が「女性がより活躍できる組織・社会を創るために」触れられ、大変興味深く、自分も見つめ直さなければならない点が多々あると思う貴重なお話を頂きました。大懇親会では、会場に入りきらないほどの大勢の会員が盛り上がりを見せ楽しい時間を過ごさせて頂きました。何より、帰りのバスでは他クラブの先輩がたとお話をすることが出来、楽しい時間を過ごさせて頂きました。また、三島に戻って来てからも他クラブの先輩方を交えて食事をし、懇親を深めさせて頂き貴重な経験をさせて頂きました。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

山村尚正君(RI第5000地区ホノルルRC)



出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	28/38	73.68%	33/38	86.84%
今回	31/39	79.49%	会員総数	41名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、大村君、岡君、土屋(巧)君、成田君、矢岸君、吉村君、渡邊君 (*出席免除会員の欠席者 片野君)

幹事報告

幹事 原兄多君

1. 来週は第4例会ですが夜例会です。お間違えのないようお願いいたします。
2. 11月21日～27日まで事務局が不在となります。FAX配信、郵便等は20日までに依頼してください。



スマイルボックス

中村徹君:11月9日～10日地区大会出席の皆さん大変お疲れ様でした。20年以上前、久方ぶりの地区大会、なんとなく参加を決めましたが、服部RI会長のアドレス、元厚生労働事務次官の村木厚子さんの少子化対策を解決する働き方改革についてのお話凄く良かったのですが、大懇親会の終了間近に小泉ガバナーの奥さまや安間みち子パストガバナーのキレキレダンスを近くで拝見し、また来年も来たいなと思ってしまいました。スマイルします。

米山晴敏君:佐野君、入会おめでとう。期待しております。

仲原実圭君:佐野さん入会おめでとうございます。

藤川智徳君:佐野君、入会おめでとうございます！今日は早退しますが、あとで歓迎会には戻ります。

野村諒子君:佐野さん、入会おめでとうございます。上岩崎講演秋まつり、無事に終わりました。協力いただきました皆さんありがとうございました。秋晴れに恵まれ、多くの方にご参加いただきました。

大川泰君:腰をやらかしてしまい針治療して来ました。スマイルします。佐野君、本日は入会おめでとうございます。

新井博薫君:佐野さん、ご入会おめでとうございます。これからよろしくお願ひします。

入江俊介君:佐野彰重さん、入会おめでとうございます。大変な時期ではありますが、仕事に、ロータリーと一緒に頑張っていきたいと思います。

石井司人君:早退させていただきます。

おめでとう

会員誕生日 11月16日 入江俊介君



入会おめでとう



佐野 彰重君

生年月日: 昭和50年10月2日
職業分類: 建設業
事業所: (有) 佐野直工務店

RI終了認証



杉橋聡君君

ROTARY NEWS

可能性ではなく時間の問題 ポリオ根絶に向けた進展が続く

ワクチンが開発された都市で行われた世界ポリオデーのイベントで、「世界からのポリオ根絶は依然として達成可能な目標である」とステファニー・アーチックRI会長と公衆衛生の専門家が述べました。

「ポリオについていえば、問題は『根絶されるのか』ではなく、『いつ根絶されるか』ということです」。アーチック氏は、ピッツバーグ大学（米国ペンシルベニア州）が主催したライブストリーミング（10月24日）で、このように聴衆に語りかけました。

「ロータリーの行動計画は、ロータリーがより大きなインパクトをもたらすことを目的としています。私たちのポリオ根絶プログラムは、まさにそれを証明するものです」と、アーチック会長。「何百万人もの子どもが、身体まひを引き起こすこの病気にかかることなくなくなるでしょう。この病気に付随する医療費のために、何十億ドルもの資金が費やされることもなくなります。私たちは、これほどまでに大きな進歩を遂げてきたのです」

世界ポリオデーは、GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）の取り組みに対する認識を高め、支援を集めることを目的としています。ロータリーとそのパートナー団体が1988年にGPEIを結成して以来、野生型ポリオウィルスの症例数は99.9%減少しました。このイベントでは、根絶に向けたロータリーの継続的な取り組みが強調して伝えられました。

ポリオは現在も、アフガニスタンとパキスタンの2カ国に常在しています。2024年には野生型ポリオウィルスの感染数が増加し、ガザ地区で25年ぶりにポリオによるまひ症例が報告されました。このことは、ポリオが完全に根絶されるまでは、世界中の子どもがポリオの脅威にさらされるという事実を物語っています。

しかし、国際的なポリオプラス委員会のマイケル・マクガバン委員長は、こうした課題はあっても世界的な根絶は手の届くところにあると、これまでと変わらぬ自信を示しています。「今は困難な時期ですが、アフガニスタンとパキスタンで引き続き重点的に取り組み、ロータリアンがこれまでに成果を上げてきた活動を継続していくことで、ポリオ根絶を成し遂げられるでしょう」

このイベントでは、ポリオ予防接種活動の現場で活動する人びとを紹介するビデオが上映されました。アーチック会長は、今年初めにパキスタンのカラチを訪問した際、これらの人びとからインスピレーションを受けたと話します。

「男性たちは毎日、交通検問所で何千人もの子どもに予防接種を行うために熱心に活動しています。一方、女性たちは家々を訪問し、家族に直接働きかけています」とアーチック会長。「中には文字通り、山を登り、遠隔地に住む子どもに予防接種を行う人たちもいます。彼らの決意が揺るぐことはありません」

このライブイベントは、2日間にわたるロータリーのゾーン研究会の一部として行われました。研究会を主催したパトリック・イークスRI理事は、ジョナス・ソーク博士がワクチンを開発した地であるピッツバーグはまさにこのイベントにふさわしい場所だと述べました。

